

静岡県内の「みなとニュース」を紹介します

# みなとしみず

SINCE 1990.6

発行



国土交通省 中部地方整備局  
清水港湾事務所  
静岡市清水区日の出町7番2号  
TEL 054-352-4146(代表)

御前崎港事務所  
下田港事務所  
田子の浦港室

## 令和8年度 清水港湾事務所 事業概要

### 【清水港】



### ①外港防波堤の改良

大規模地震・津波による防波堤の倒壊を防ぐため、「粘り強い構造※」への改良工事を進めます。



外港防波堤 被覆ブロックの設置(R8.1)

### ②新興津岸壁の延伸

近年のパルプ輸入量増加や船舶の大型化による岸壁利用の混雑に対応するため、岸壁を200m延伸します。

重量：約2,600トン/1箱



新興津岸壁延伸部に据え付けるケーソン (R8.3)



新興津岸壁延伸事業の概要

### 【御前崎港】

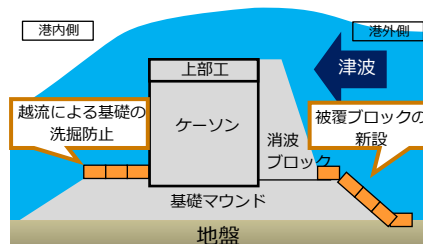


### ①防波堤 (A) の改良

大規模地震・津波による防波堤の倒壊を防ぐため、「粘り強い構造※」への改良工事を進めます。

### ②西埠頭岸壁の改良

大型自動車運搬船等が安全かつ安定的に利用できるよう、岸壁の老朽化対策工事を進めます。



※粘り強い化への改良イメージ



②波除堤の撤去作業(R7.6)

# 【下田港】



## ①防波堤の整備

荒天時の船舶の避難場所として利用されてきた下田港において、船舶が安全に避難できる静穏な水域を確保するとともに、東海地震などによる津波から市街地を防護するため、防波堤の整備を進めます。



防波堤上部工事 コンクリート打設 (R7.9)



防波堤 消波ブロック据付 (R7.11)

## 県内港湾のクルーズ船寄港が過去最多に！

2025年、静岡県内では清水港105隻、御前崎港1隻、伊東港1隻、松崎港1隻のクルーズ船が寄港し、過去最多の寄港数であった前年の91回を更新しました。2026年は、それらを上回る113回の寄港を見込んでいます。

こうしたクルーズ船の魅力を広く伝えるため、クルーズライターの上田寿美子氏を講師として、市民・県民の方も対象とした「清水港客船誘致員会設立35周年記念講演会」が2月8日に開催されました。



講演会の様子  
(主催:清水港客船誘致委員会)

県名	寄港地名 (港湾名)	寄港回数																									
		2013年		2014年		2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		2025年 (速報値)	
		外国 船社	日本 船社	外国 船社	日本 船社	外国 船社	日本 船社	外国 船社	日本 船社	外国 船社	日本 船社	外国 船社	日本 船社	外国 船社	日本 船社	外国 船社	日本 船社	外国 船社	日本 船社	外国 船社	日本 船社	外国 船社	日本 船社	外国 船社	日本 船社	外国 船社	日本 船社
静岡県	清水港	2	7	5	8	5	5	13	3	31	7	25	7	31	9	-	7	-	9	-	13	53	4	81	6	99	6
	御前崎港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-
	田子の浦港	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
	伊東港	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1
	下田港	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	熱海港	-	1	-	-	-	1	-	2	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-
	松崎港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	初島港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

※2024年、2025年の寄港回数は中部地整クルーズ振興・港湾物流室調べ、2026年の寄港回数は静岡県 公表資料(R8.3.4)より

## 田子の浦港脱炭素化推進計画が策定されました！



第4回 田子の浦港脱炭素化推進協議会の様子

2月20日、第4回田子の浦港港湾脱炭素化推進協議会(事務局:静岡県)が開催され、令和6年9月に設立した第1回協議会からの議論を経て、3月18日に「田子の浦港港湾脱炭素化推進計画」が公表されました。このことにより、中部管内(静岡県、愛知県、三重県)の重要港湾以上の全ての港でCNP形成に向けた計画が策定されました。

## 第39回 国づくり・地域づくりシンポジウムが開催されました！

本シンポジウムは2月26日、清水港・みなと色彩計画推進協議会と(一財)国土計画協会が主催で「共創による清水みなとまちの明るい未来」をテーマに、静岡市清水文化会館マリナートにて開催されました。また、同会場では2月25日～27日の3日間で「清水みなとまち 今昔めぐり 美×知でつなぐ港の未来」をテーマに展示会が開催され、延べ890人が来場し、大盛況でした。

### シンポジウム

主催者挨拶の後、ビデオメッセージより香川県知事、室蘭市長、佐久市長らより祝辞が述べられました。

基調講演では、磯部名誉教授が「協働防護による新しい防災のかたち」、石井氏が「夜景が創る港の未来」と題して解説しました。パネルディスカッションでは、難波市長がコーディネーターを務め、中原副局長を交えて、清水港の将来像について議論を深めました。



パネルディスカッションの様子



東 恵子  
(清水港・みなと色彩計画推進協議会 会長)



磯部 雅彦  
(東京大学・高知工科大学 名誉教授)



石井 幹子  
(照明デザイナー)  
(株式会社石井幹子デザイン事務所 代表)



難波 喬司  
(静岡市長)



中原 正顕  
(国土交通省 中部地方整備局副局長)

### 展示会

パネルや歴史のある展示物を通じて、かつての清水港やまちの姿を振り返り、今の清水港の魅力を再発見し未来のみなとまち清水へ、繋がりを深め、広げる場として開かれました。展示会には61者の企業・団体が参画し、清水港湾事務所からは、日の出岸壁にある係船柱の実物大模型と「新興津地区国際物流ターミナル整備事業」「日の出岸壁高質化舗装」の取り組みをパネル展示しました。



展示会の様子

## みなとオアシス下田で賑わいイベントが開催されました！



芝生広場に並ぶキッチンカーと行列

2月21日・22日に、みなとオアシス下田の構成施設である、まどが浜海遊公園にて実証実験としてキッチンカーフェスタが初開催されました。同イベントは県内外から延べ約40台のキッチンカーが集結し、2日間で延べ約3,500人が来場しました。富士宮焼きそばなどご当地グルメを求め、長い列ができるなど、会場は大いに盛り上がりました。

## 火災や津波に備えた訓練に参加しました！

### 【3月2日 船舶海難救難訓練】

～旅客船の航行中に火災発生を想定した訓練～



清水港 日の出地区 旅客船「オーナガブリンスス」



機関室からの火災発生！  
比較的安全な2階デッキに避難！



海上保安部 巡視船「みみかぜ」  
による船体冷却を模擬的に実施！



避難誘導中、乗客2名が海中転落、  
海上保安部員により救助しました！



静岡県警「するが」により、  
救命筏に移動した乗客を救助！

### 【3月11日 コンテナターミナル津波避難訓練】

～新興津・袖師CTIにおいて津波を想定した訓練～

#### ■避難班



発災の放送を聞いて、  
建物の屋上に避難しました！



#### ■本部班



ドローンで撮影した港内、避難状況を  
スクリーンに投影し、被災状況確認と  
情報伝達の訓練を実施しました！



リアルタイムでドローンの映像や軌跡を確認  
写真提供：エアロセックス(株)



## 南鳥島沖のレアアース泥の試掘に成功した 地球深部探査船「ちきゅう」船内を見学しました！

3月3日、清水港に停泊する海洋研究開発機構(JAMSTEC)所有の地球深部探査船「ちきゅう」を船内見学しました。船内では、本船の管理・運用を担当する日本マントル・クエスト(株)の職員より、操舵室で操船・掘削システムの概要や船首の上部にあるヘリポート、海底の地質試料を採取するドリルパイプ等の説明を受けました。普段見ることができない内部の設備を見学でき貴重な経験となりました。

本船は、スマートフォンや電気自動車、風力発電など、現代の先端技術に不可欠なレアアース(希土類)元素を含む泥を海底から引き上げるシステムの試験のため1月12日に清水港を出港し、南鳥島沖(東京)の水深約6,000mからの揚泥を世界で初めて成功させ2月14日に帰港しました。



興津埠頭に停泊する探査船「ちきゅう」



船内での見学の様子

### 海とみなとの相談窓口



全国共通フリーダイヤル(土・日・祝日は除く)  
おーいに よくなれ みなと

**0120-497-370**

受付時間: 9時30分～12時00分  
13時00分～17時00分

海やみなとに関することは何でもお問い合わせください

### ■お問い合わせ先■

清水港湾事務所 企画調整課  
TEL 054-352-4148  
[pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp](mailto:pa.cbr-shimizukouwan@mlit.go.jp)

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

清水港湾事務所では、学校、企業、自治会の皆様を対象に、みなと見学会を実施しています。詳細は右記の事務所HPをご覧ください！

事務所HP(QRコード・URL)



<https://www.shimizu.pa.cbr.mlit.go.jp>